

## 宮古西原方言の語彙(1)

NAKAMA, Mitsunari / 名嘉真, 三成

---

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

13

(開始ページ / Start Page)

131

(終了ページ / End Page)

159

(発行年 / Year)

1988-11-30

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012646>

# 宮古西原方言の語彙（I）

名嘉真 三 成

## A Study of Vocabulary on Nishihara Dialect in Miyako Is. (I)

by Mitsunari NAKAMA

### 序

宮古方言は南琉球方言の中でも比較的体系性の強固な方言である。いわゆる音韻、文法のいずれの面でも明確な体系を示し、いわば日本祖語との対応関係が比較的容易に把握できる特色を有する。言うまでもなく、このような方言は比較言語学的研究の分野に重要な役割を演ずる。従って、できるだけ綿密な宮古方言の記述研究が望まれるが、特に語彙全般に関する記述は、音韻論をはじめ各分野の基礎的な資料として必要不可欠なものである。ところが、語彙全般にわたる共時論的記述研究は、今日まで宮古方言にはなかったと言ってよい。周知の通り、これまで奄美には『奄美方言分類辞典』上・下、沖縄には『沖縄語辞典』・『沖縄今帰仁方言辞典』、そして八重山には『八重山語彙』などの優れた辞書がある。もし、宮古方言に、これらの辞書ほどでなくとも、何らかの語彙全般に関する記述研究があれば、琉球全域を鳥瞰した比較言語学的研究が可能になろう。

本稿は以上のことから、宮古西原方言の語彙について記述したものである。本来、八行P音などを保持する古い方言の記述が望しいが、ここでは筆者の内省による記述に重きを置く故、西原方言を抽出する。なお本稿は完全無欠なものではなく、あくまでも比較研究の礎となるよう編んだものであり、今後網羅できなかつた語彙も含めてより完全な記述を心掛けたい。

### 凡例

#### 収録語

- 1 南琉球方言に属する宮古平良市西原方言を収録した。
- 2 語の蒐集は筆者の内省に基づくが、不明瞭な語については村の古老たちに確認した。
- 3 収録した語の中には、比較的新しい借用語も入っている。
- 4 語の蒐集は、主として『沖縄今帰仁方言辞典』（仲宗根政善 角川書店）を参考にした。

## 見出し項目

1 見出し項目には次のものをたてた。

- (1) 自立語としての単語、複合語、連語など。
- (2) 附属語としての助詞・助動詞、および補助動詞、補助形容詞など。
- (3) 接頭語、接尾語など。
- (4) 句（慣用句として用いられるもの）。
- (5) 造語成分で特に重要なもの。

2 見出し項目の下位に示した複合語と慣用句。

(1) 比較的規則的な性格を有する派生語

- くーかん [形] きつい。苦しい。  
 くーさ あしい きつそうにする。  
 くーむぬ きついこと。くーくとう きついこと。  
 くーしいぐとう きつい仕事。

(2) 比較的副次的な複合語。

- あーぎ [名] 上。上方。  
 あーぎなぎ [名] 上の辺り。

3 変種語形。

変種語形はできるだけ見出し項目として掲示したが、それ以外の語形は「～ともいう」「～と同じ」と示した。

## 見出し項目の提示方法

- 1 原則として音韻論的平仮名を五十音順に並べて示す。
- 2 長音はその直前の音の重複とみる。
- 3 清濁については、清音、濁音、半濁音の順で示す。
- 4 拗音などは二文字とみる。

## 語形の表記

1 語形の表記は、まず音韻論的平仮名表記を示し、次にできるだけ生の資料を提示する意味で音声表記を示した。

- あかかん akakaŋ [形] 赤い。  
 かーしい ka:sī [名] 菓子。  
 しーぐ ſi:gu [名] 小刀。

2 語形の表記は、次の拍表に従った。

ひ	へ	は	ふ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ	ん
/hi/	/he/	/ha/	/hu/	/ho/	/hja/	/hju/	/hjo/	/hN/

[çi]	[he]	[ha]	[φu]	[ho]	[ça]	[çu]	[ço]			[ m ]
										[ n ]
い	い	え	あ	う	お	や	ゆ	よ	わ	ん
/i/	/i/	/e/	/a/	/u/	/o/	/ja/	/ju/	/jo/	/wa/	/N/
[ ?i ]	[ ?i ]	[ ?e ]	[ ?a ]	[ ?u ]	[ ?o ]	[ja]	[ju]	[jo]	[wa]	[ m ]
	[ i ]									[ n ]
[ i ]	[ ɜ ]	[ e ]	[ a ]	[ u ]	[ o ]					[ ɣ ]
き	け	か	く	こ	きゃ	きゅ	きょ			
/ki/	/ke/	/ka/	/ku/	/ko/	/kja/	/kju/	/kjo/			
[ki]	[ke]	[ka]	[ku]	[ko]	[kja]	[kju]	[kjo]			
ぎ	げ	が	ぐ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ			
/gi/	/ge/	/ga/	/gu/	/go/	/gja/	/gju/	/gjo/			
[gi]	[ge]	[ga]	[gu]	[go]	[gja]	[gju]	[gjo]			
てい	て	た	とう	と	てゃ	てゅ				
/ti/	/te/	/ta/	/tu/	/to/	/tja/	/tju/				
[ti]	[te]	[ta]	[tu]	[to]	[tja]	[tju]				
でい	で	だ	どう	ど	でゃ	でゅ				
/di/	/de/	/da/	/du/	/do/	/dja/	/dju/				
[di]	[de]	[da]	[du]	[do]	[dja]	[dju]				
ち	ちい				ちゃ	ちゅ	ちよ			
/ci/	/ci/				/cja/	/cju/	/cjo/			
[tʃi]	[tsi]				[tʃa]	[tʃu]	[tʃo]			
し	しい	せ	さ	す	そ	しゃ	しゅ	しよ		
/si/	/si/	/se/	/sa/	/su/	/so/	/sja/	/sju/	/sjo/		
[ʃi]	[si]	[se]	[sa]	[su]	[so]	[ʃa]	[ʃu]	[ʃo]		
じ	じい	ぜ	ざ	ず	ぞ	じゃ	じゅ	じよ		
/zi/	/zi/	/ze/	/za/	/zu/	/zo/	/zja/	/zju/	/zjo/		
[ ʒi ]	[ zi ]	[ ze ]	[ za ]	[ zu ]	[ zo ]	[ ʒa ]	[ ʒu ]	[ ʒo ]		
[ dʒi ]	[ dʒi ]	[ dze ]	[ dza ]	[ dzu ]	[ dzo ]	[ dʒa ]	[ dʒu ]	[ dʒo ]		
り	れ	ら	る	ろ	りゃ	りゅ	りよ			
/ri/	/re/	/ra/	/ru/	/ro/	/rja/	/rju/	/rjo/			
[ ri ]	[ re ]	[ ra ]	[ ru ]	[ ro ]	[ rja ]	[ rju ]	[ rjo ]			
[ li ]		[ la ]								

に	ね	な	ぬ	の	にゃ	にゅ	によ
/ni/	/ne/	/na/	/nu/	/no/	/nja/	/nju/	/njo/
[ni]	[ne]	[na]	[nu]	[no]	[nja]	[nju]	[njo]
ふい		ふあ	ふう		ふゃ	ふゅ	
/fi/		/fa/	/fu/		/fja/	/fju/	
[fi]		[fa]	[fu]		[fja]	[fju]	
ぶい		ぶあ	ぶう		ぶゃ	ぶゅ	
/vi/		/va/	/vu/		/vja/	/vju/	
[vi]		[va]	[vu]		[vja]	[vju]	
ぴ	ぺ	ぱ	ぷ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
/pi/	/pe/	/pa/	/pu/	/po/	/pja/	/pju/	/pjo/
[pi]	[pe]	[pa]	[pu]	[po]	[pja]	[pju]	[pjo]
び	べ	ば	ぶ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ
/bi/	/be/	/ba/	/bu/	/bo/	/bjja/	/bjju/	/bjjo/
[bi]	[be]	[ba]	[bu]	[bo]	[bjja]	[bjju]	[bjjo]
み	め	ま	む	も	みゃ	みゅ	みょ
/mi/	/me/	/ma/	/mu/	/mo/	/mja/	/mju/	/mjo/
[mi]	[me]	[ma]	[mu]	[mo]	[mja]	[mju]	[mjo]

注 //は音韻記号、[ ]は音声記号を示す。

#### 見出し語の説明

- 1 すべての語に、略語で品詞名を示した。
- 2 説明は、初めに音韻的に対応する形を示した。
- 3 多義語の場合、まず対応する形を掲げ、それぞれの意味を、①②③……のように分けて示し、必要に応じて例文を挙げた。

略語は次の通りである。

[接頭]	接頭語	[接尾]	接尾語
[名]	名詞	[代]	代名詞
[動]	動詞	[形]	形容詞
[副]	副詞	[連体]	連体詞
[接続]	接続詞	[感]	感動詞
[補助動]	補助動詞	[補助形]	補助形容詞
[助]	助詞	[連語]	連語
(擬態)	擬態語	(擬声)	擬声語
(動)	動物	(植)	植物

(魚)	魚類	(貝)	貝類
(昆)	昆虫	(地)	地名
(屋号)	屋号名	(幼)	幼児語
(古)	古語	(新)	新語

記号は次の通りである。

- 接続語の末尾や接尾語の頭部などに付ける。
- ( ) 例文その他の訳を表わす。
- ～ 例文等の中での見出し項目を示す。
- ㊦ 例文。

### 参 考 文 献

- 『沖繩今帰仁方言辞典』 仲宗根政善 角川書店 1983年
- 『奄美方言分類辞典』 長田須磨・須山名保子 笠間書院 1977年
- 『沖繩語辞典』 国立国語研究所編 大蔵省印刷局 1963年
- 『図説琉球語辞典』 中本正智 力富書房 1981年
- 『八重山語彙』 宮良当壮 東洋文庫 1930年
- 『宮古郡島語辞典』 下地一秋 小林印刷 1979年
- 『全国方言辞典』 東条操編 東京堂出版 1951年
- 『日本国語大辞典』 小学館 1972年
- 『時代別国語大辞典』 上代編 三省堂 1967年
- 『擬音語・擬態語辞典』 浅野鶴子編 角川書店 1978年
- 『岩波古語辞典』 大野晋他編 岩波書店 1974年
- 『言語学の方法』 服部四郎 岩波書店 1960年
- 『琉球方言の研究』 仲宗根政善 新泉社 1987年
- 『琉球方言音韻の研究』 中本正智 法政大学出版局 1976年

### あ

- あ- a- 近称の指示語をつくる。㊦あい あしいな(そうするな)。あんしー(そう)。
- あー a: [感] ああ。失望をした時に言う。ああ ならん(ああ残念だ)。
- あー a: [名] 粟。あーゆ いびい(粟を植える)。
- あーがら a:gara [名] 粟殻。あーがらう とうい(粟殻を取る)。
- あーぎ a:gi [名] ①上。場所、地位、優劣の高い方。②上座敷、一番座敷。あーぎん びじ(上座敷に座れ)。
- あーぎかた a:gikata [名] 上の方。

あーぎなぎ a:ginagi [名] 上のあたり。㊦あーぎなぎゅー とぅみい (上のあたりを捜す)。  
あーさ a:sa (植) 海藻の一種。あおさ。ひとえぐさ。食料になる。㊦あーさぬ ういい  
(あおさが生える)。

あーしい a:sī [動] (膿や乳を) 手で押して出す。したたらす。㊦ぬぶたう ~ (おできを  
つぶす)。

あーしい a:sī [動] 合わせる。くいとぅ かいとぅ~ (これとあれと合わせる)。

あーしいじいん a:sīdzij [名] 合わせ衣。裕。㊦あーしいじいんぬ ちいい (裕を着る)。

あーたうとぅ a:tautu (感) ああ尊。礼拝、祈願の時に用いる。㊦~ たしいきー ふいー  
さまち (ああ尊助けて下さい)。

あーふうきゃ a:fukja [名] 泡をふくもの。あわふうきゃとも言う。

あーふうちい a:futsī [動] あえぐ。激しく呼吸をする。あわふうちいとも言う。

あーぶく a:buku [名] 泡。㊦あーぶくぬ いでいい (泡が出る)。

あい ai [副] そう。㊦~ あっす (そうしろ)。

あい ai [名] 藍。染料に用いる。㊦あいゆ そみい (藍を染める)。

あい ai [動] 有る。在る。㊦くまんどぅ ~ (ここに有る)。

あい ai (感) ああ。人の意見に同調する時に言う。㊦~ っぶあが あいとーり (ああ君  
の言う通りだ)。

あい ai [動] 言う。歌う。㊦むぬー ~ (言葉を言う)。あーぐー ~ (歌を歌う)。

あいあしい aiasī (連語) そうする。㊦あいあしいな (そうするな)。

あいいい aii [動] あえる。㊦すーゆ ~ (野菜をあえる)。

あいさちい aisatsī [名] (新) 挨拶。

あいじい aidzī [名] 合図。㊦あいつじゅ あしい (合図をする)。

あいじいる aidzīru [名] 藍汁。

あいずみ aidzumi [名] 藍染め。

あいちい aitsī [動] ①歩く。㊦んちいから ~ (道を歩く)。②通う。従事する。㊦がっ  
こーゆ ~ (学校へ通う)。③進む。㊦ふうにぬ ~ (船が進む)。

あいちいびゃーかん aitsībja:kag [形] 歩くのが速い。㊦かりゃー ~ (彼は歩くのが速い)。

あいだ aida [名] あいだ。㊦やしいんぬ~ べんきょーゆ あしい (休みのあいだ勉強す  
る)。

あいだき aidaki (連語) ありったけ。㊦~ ふいーる (ありったけくれ)。

あいてい aiti [名] (新) 相手。㊦っぶあが あいてゃー たる (君の相手は誰)。

あいな aina (連語) そうか。人の話にうなずく時に用いる語。㊦~ まーんていーが (そ  
うか本当なのか)。

あいなうしい ainausī [動] 言いなおす。言い改める。㊦んぬ あいたい くとぅー ~

(昨日言ったことを言い改める)。

あいぬ ainu (連体) そんな。㊦～ くとうー あいな (そんなことを言うな)。

あいぬくしい ainukusi [動] 言い残す。㊦あいぬくしいたい くとうー にゃーん (言い残したことはない)。

あいはていい aihatii [動] 言い果てる。㊦んみゃ ～ (もう言い果てる)。

あいばっばい aibappai [名] 言い違い。㊦あいばっばいや にゃーん (言い違いはない)。

あいばっばいいい aibappaii [動] 言い違える。

あいひー aiçi: [接続] それから。そうして。㊦～ また いかだかー ならん (それからまた行かねばならない)。あやひーとも言う。

あいま aima [名] 合間。あいだ。時間的に用いる。㊦あいまあいまん くー (合間合間に来い)。

あいまかしい aimakasi [動] 言い負かす。㊦しんしーゆ ～ (先生を言い負かす)。

あいむぬ aimunu [名] あえもの。野菜類を酢やみそなどであえて調理した食べ物。

あう au [名] 青。㊦あうゆ いらび (青を選べ)。

あうあうていー auauti: [副] 青々と。㊦いんな ～ ひー うい (海は青々としている)。

あういる auru [名] 青色。㊦くぬ いるー ～ (この色は青色だ)。

あうかた aukata [名] 青い方。㊦あうかたぬどう じゃうかい (青い方が良い)。

あうかん aukag [形] 青い。緑色も含む。㊦っさー ～ (草は青い)。

あうきー auki: [名] 青い木。生の木。枯れていない木。さりきーの対。㊦あうきーゆ とうみる (青い木を捜せ)。

あうさび ausabi [名] 青錆。㊦あうさびぬ ういい (青錆が生える)。

あうさりかん ausarikag [形] 生ぐさい。㊦いうー ～ (魚は生ぐさい)。

あうしいじい ausidzi [名] 青筋。静脈。

あうじい audzi [名] 扇。くばあうじい (蒲葵の葉で作った扇)。あうじいぬふに (扇の骨)。

あうじい audzi [動] 扇ぐ。㊦あうじいひー ～ (扇で扇ぐ)。

あうずー audzu: [名] 青野菜。㊦あうずーゆ かう (青野菜を買う)。

あうたー auta: [名] 青田。

あうだ auda [名] もっこ。阿且の茎で縄をない、それを編んで作る。㊦あうだひー かたん (もっこで担ぐ)。

あうだき audaki [名] 青竹。若い竹。

あうなじ aunadzi [名] 琉球青蛇。蛇の一種。

あうなば aunaba [名] 青い藻。青のり。水につかった木などにつく青い細かい藻。

あうばー auba: [名] 青い葉。青葉。

あうばい aubai [名] 青蠅。㊦あうばいぬ とうう (青蠅が飛ぶ)。

あうばとう aubatu [名] 青鳩。

あうびー aubi: [名] 青い火。㊦あうびーぬ いでいい (青い火が出る)。

あうまみ aumami [名] 青豆。やえなり。

あうみ aumi [名] 青み。青みをおびた色。

あうみー aumi: [名] 青い目。㊦うらんだぬみーや ~ (外人の目は青い目だ)。

あうみー aumi: [名] 臆病。小心者。あうみーびとう (臆病者)。

あうみーかん aumi:kag [形] 臆病である。㊦みどうんな ~ (女性は臆病だ)。

あうむぬ aumunu [名] ①青物。青いもの。②熟しないもの。

あうん aug [動] 青む。㊦ったかいー かーぬ ~ (殴られて皮膚が青む)。

あか aka [名] 赤。黄色も含む。㊦あかう ぬい (赤を塗る)。

あか aka [名] 舟にたまる水のこと。㊦あかう んん (舟にたまる水を汲む)。

あか aka [名] 髪。からじいとも言う。㊦あかう すい (髪を切る)。

あか aka [名] 垢。なばとも言う。㊦あかう うとうしい (垢をおとす)。

あかい akai [動] 雨がはれる。

あかい akai [名] 蟻。あかいぬしいー (蟻の巣)。

あかいる akairu [名] 赤色。㊦あかいるー ぬい (赤色を塗る)。

あかうぎー akaugi: [名] あこうの木。

あかかびー akakabi: [名] 赤紙。祝いの時に用いる。

あかからじい akakaradzī [名] 赤い髪。赤色の髪の毛。自然の髪にも赤く染めた髪にも用いる。

あかかん akakag [形] 赤い。明るい。㊦くぬはなー ~ (この花は赤い)。かぬ やーや ~ (あの家は明るい)。

あかがーら akagara [名] 赤瓦。~やー (赤瓦の家)。

あかがに akagani [名] あかがね。銅。

あかぎー akagi: [名] 赤毛。赤い髪。髪全体にも一筋一筋にも用いる。㊦かいが からっじゃ ~ (彼女の髪は赤い髪だ)。

あかぐー akagu: [名] 赤飯をつくる時に使う着色料。

あかさ akasa [名] みなし子。

あかさ akasa [名] 赤さ。

あかさなじい akasanadzī [名] 赤ふんどし。㊦あかさなっじゅ ちいい (赤ふんどしを着る)。

あかさび akasabi [名] 青錆。~ぬ ういい (赤錆が生える)。

あかすいやー akasuija: [名] 理容館。㊦~ん あかう すい (理容館で髪を切る)。

あかずみ akadzumi [名] 赤染め。赤や茶褐色に布を染めること、また染めた布。~ちいん

(赤く染めた着物)。

あかっぶあ akavva [名] 赤ちゃん、赤ん坊。

あかでいん akadiŋ [名] 赤銭。銅貨。㊦～ぬ いだしい (赤銭を出す)。

あかな akana [名] (植) 鳥菜。おおからしな。

あかばたうい akabataui (植) すいか。㊦～ぬ ない (すいかが成る)。

あかばな akabana [名] 赤花。仏桑華。

あかばな akabana [名] 赤鼻。鼻の赤い者。

あかひぎ akaçigi [名] 赤ひげ。赤いひげ。

あかびーい akabii [名] (昆) 赤とんぼ。

あかまい akamai [名] 赤飯。

あかみはな akamihana [名] 赤顔。①赤ら顔。②赤面。㊦さきゃー ぬみー ~ (酒を飲んで赤ら顔)。みどうんぬ みー ~ない (女性を見て赤面になる)。

あが aga (感) あ痛い。痛い時に思わず発する。㊦～ ひとつぬ はっじゅ んーな (あ痛人の足を踏むな)。

あがい agai (感) ああ。悲しい時や疲れた時などに発する。㊦～ くーむぬ (ああきつい)。  
～ かまらしいむぬ (ああ悲しい)。

あがい agai [名] 東。あがいかた (東の方)。㊦～から ていだぬ ぬーい (東から太陽がのぼる)。

あがい agai [名] 上がり。下から上に頂点を視点に移動すること。㊦きーぬすらんかいーや むつかしいむぬ (木の天辺に上がるのは難しい)。

あがい agai [動] 上がる。下から上へ到達点を視点に移動する。㊦ていだぬ ~ (太陽が上がる)。

あがいかた agaikata [名] 東の方。㊦～う みい (東の方を見る)。

あがいかでい agaikadi [名] 東風。㊦～ぬ ふうちい (東風が吹く)。

あがいじま agaidzima [名] 村の東方の集落。

あがいていだ agaitida [名] 上がる日。㊦～う うがん (上がる日を拝む)。

あがいふうちい agaifutsi [名] 東向き。家などが東向きになっていること。

あがいばり agaibari [名] 集落の東側の区域。

あがいまーい agaimai [名] 風が東にまわること。

あがた agata [名] 遠いこと。

あがたかん agatakaj [形] 遠い。ゆかーまかんとも言う。㊦っぶあが やーや ~ (君の家は遠い)。

あがんにゃー agannja: [名] 東隣の家。㊦～んかい いちい (東隣の家へ行く)。

あぎい agii [動] 上げる。揚げる。㊦はたう~ (旗を上げる)。

- あぎさぎ agisagi [名] 上げ下げ。㊤～ あしい (上げ下げする)。
- あぎだー agida: [名] 上げ田。浅い田。ふうかだー (深い田) の対。
- あぎだうふう agidaufu [名] 揚げ豆腐。
- あぎなうしい aginausi [動] 揚げ直す。
- あぎまーしい agima:sī [動] せきたてる。いろいろ言っただけでその気にさせる。㊤あっす  
あっすていー ～ (やれやれとせきたてる)。
- あぎましい agimasī (屋) 屋号の一つ。
- あぎむぬ agimunu [名] 揚げ物。油揚げにしたもの。てんぷらなど。㊤～う あしい (揚  
げ物をする)。
- あくま akuma [名] (新) 悪魔。死んだ赤ちゃんにも言う。
- あぐ agu [名] 年齢を越えた友達。
- あぐに aguni [名] (地) 粟国。
- あきやうだ akjauda [名] 商人。㊤～ぬ むぬー うう (商人が物を売る)。
- あさ asa [名] 麻。㊤～う んん (麻をつむぐ)。
- あさ asa [名] 父。うやんま～ (両親)。いあとも言う。
- あざ adza [名] 字。町村内の区画名。
- あさかん asakaŋ [形] 浅い。㊤くまぬ いんな ～ (ここの海は浅い)。
- あささ asasa [名] 浅さ。㊤～う はかい (浅さをはかる)。
- あさじいん asadzīŋ [名] 麻衣。麻の着物。
- あさむぬ asamunu [名] 朝食。㊤～う ふあう (朝食を食べる)。
- あしい asi [動] する。㊤しいかまう ～ (仕事をする)。
- あしいかた asikata [名] 仕方。やり方。㊤～ぬ ばいかん (やり方が悪い)。
- あしいざま asīdzama [名] し様。やり方。あしいかたより悪いイメージがある。
- あしいじゃうじい asīdzaudzī [名] やり上手であること。
- あしいじゃうじいかん asīdzaudzīkaŋ [形] やり上手である。
- あしいなうしい asīnausi [名] やり直し。
- あしいなうしい asīnausi [動] やり直す。㊤しいかまう ～ (仕事をやり直す)。
- あしいならい asīnarai [名] やり慣れること。
- あしいなりい asīnarii [動] やり慣れる。
- あしいぬくい asīnukui [名] やり残し。
- あしいぬくい asīnukui [動] やり残る。
- あしいぬくしい asīnukusi [動] やり残す。
- あしいにゆーかん asīnjukaŋ [形] するのが遅い。あしいにゆーびとう (するのが遅い人)。
- あしいはっちゃきい asīhattakii [動] しそこなう。

- あしいはてい *asihatii* [動] し果てる。㊤んみや あしいはていーにゃーん (もうし果ててしまう)。
- あしいびゃーかん *asibja:kaŋ* [形] するのが速い。あしいびゃーびとう (するのが速い人)。
- あしいみい *asimii* [動] させる。㊤うっとうん ~ (弟にさせる)。
- あしいやしいかん *astijasikaŋ* [形] しやすい。
- あしいやしいくとう *asijasikutu* [名] しやすいこと。
- あじい *adzī* [名] 味。㊤あっじゅ みい (味をみる)。
- あじい *adzī* [名] 按司。地方に城を持ち割拠していた領主のこと。
- あじいかい *adzīkai* [名] 預かり。あじいかいでいん (預かり銭)。
- あじいかい *adzīkai* [動] 預かる。㊤でいんぬ ~ (お金を預かる)。
- あじいき *adzīki* [名] 小豆。あじいきまみとも言う。
- あじいきい *adzīkii* [動] 預ける。㊤っふあう ~ (子供を預ける)。
- あじいきまみ *adzīkimami* [名] 小豆。
- あじいまさ *adzīmasa* [名] 甘さ。
- あじいまくん *adzīmakaŋ* [形] 甘い。味覚についてのみ言う。
- あじいまむぬ *adzīmamunu* [名] 甘い物。㊤~う ふあう (甘い物を食べる)。
- あじゃ *adza* [名] ほくろ。あざ。㊤~ぬ いでいい (あざが出る)。
- あたい *atai* [動] 当たる。
- あたい *atai* [名] 当たり。
- あたばかーい *atabakai* [副] 一時。しばらく。㊤~ まちー うり (しばらく待っている)。
- あたらしいかん *atarasikaŋ* [形] 惜しい。
- あだ *ada* [名] 仇。敵。
- あだうちい *adautsī* [名] (新) 仇討。
- あだなー *adana:* [名] あだな。㊤~ゆ ちいきい (あだなをつける)。
- あだなしい *adanasī* [名] 阿旦の気根を裂いて乾かしたもので、縄やひもを作るのに用いる。  
㊤~ひー なーゆ なく (阿旦の気根で縄をなう)。
- あだん *adag* [名] (植) 阿旦。
- あだんばさば *adambasaba* [名] 阿旦で作ったぞうり。
- あちいかん *atsikaŋ* [形] 暑い。㊤きゅーや ~ (今日は暑い)。
- あちいかん *atsikaŋ* [形] 熱い。㊤くぬ みっじゃ ~ (この水は熱い)。あちいみじい (熱水)。
- あちいまい *atsimai* [動] (新) 集まる。
- あちいまいどうく *atsīmaidukuna* [名] 集まる所。集合所。
- あちいみい *atsimii* [動] (新) 集める。㊤きってゅー ~ (切手を集める)。

- あちいぐーかん atsigu:kaŋ [形] 厚い。㊦くぬたなー ~ (この板は厚い)。
- あっすが assuga [接続] だが。だけでも。㊦あふだかーならん~ つぶあー あしいな (しなければならぬ、だが君はやるな)。
- あっぶあ avva [名] 油。脂肪。㊦~う ぬい (油を塗る)。
- あっぶあかん avvakaŋ [形] 油っこい。㊦くぬ しいーっさ ~ (この肉は油っこい)。
- あっぶあなび avvanabi [名] 油なべ。油を入れて煮るなべ。
- あっぶあむぬ avvamunu [名] 油物。
- あっぶあんす avvansu [名] 油みそ。みそを油でいためた料理。
- あっぶあっぶ appuappu (擬態) おぼれてもがく様子。
- あとう atu [名] ①後。㊦~ん なる (後になる)。②跡。㊦~ぬ ぬくい (跡が残る)。
- あとううい atuui [名] 後追い。後から追って行くこと。
- あとううしい atuusi [名] 後押し。㊦~ あしい (後押しする)。
- あとうかた atukata [名] 跡かた。㊦あとうかた~ にゃーん (跡かたは無い)。
- あとうかたじいき atukatadziki [名] (新) 後片づけ。
- あとうさちい atusatsi [名] あとさき。㊦~う きみい (あとさきを定める)。
- あとうちいぎ atutsigi [名] 後継ぎ。
- あとうちいぎゃ atutsigja [名] 後継ぎする者。
- あとうとうい atutui [名] 後取り。
- あとうどうみ atudumi [名] 後妻。
- あとうないさちいない atunaisatsinai [連語] 後になったり先になったり。㊦~ いちい (後になったり先になったりして行く)。
- あとうむどうい atumudui [名] 後戻り。
- あどう adu [名] かかと。踵。
- あどうぐる aduguru [名] かかと。踵。㊦~う ふあーしい (かかとを蹴る)。
- あな ana [名] 穴。孔。くぼんだ所。つつ抜けになった所にも言う。㊦~んかい はい (穴に入る)。
- あぬゆー anuju: [名] あの世。来世。
- あはー aha: (感) ああ。うなずく時に言う。㊦~ まーんていー (ああ本当だ)。
- あはあは ahaaha (擬音) 声高に笑うこと。
- あば aba (感) 予想外のことに驚く時に発する。あれ。㊦~ なうひー あい あしいが (あれどうしてそうするか)。
- あばさ abasa [名] ①魚名。はりせんぼん。②女子の暴れ者。
- あふうあふう afuafu (擬態) ふわふわした様子。㊦~ていーぬ びーむぬ (ふわふわした椅子)。

あふうじい afudzī [名] あくび。

あぶ abu [名] 深い溝。深い洞穴。㊦～んかい うていい (深い溝に落ちる)。

あぱらぎかん aparagikaŋ [形] 容姿が美しい。㊦かぬ みどうんな ～ (あの女性は美しい)。

あぱらぎみどうん aparagimiduŋ [名] 美しい人。美人。

あまい amai [名] ①余り。余分。㊦～や ばが たま (余りはぼくの分だ)。②度を越すこと。

あまいい amaii [動] (新) 甘える。だだをこねる。

あまいむぬ amaimunu [名] 余り物。㊦～う ふあう (余り物を食べる)。

あまかん amakaŋ [形] 味が薄い。㊦くぬ んっしいーや ～ (この汁は味が薄い)。

あまがさ amagasa [名] ①雨傘。②月のかさ。

あまぐい amagui [名] 雨乞い。㊦～ゆ あしい (雨乞いをする)。

あまぐいくいちゃー amaguikuitja: [名] 雨乞いのための踊り。

あまぐむ amagumu [名] 雨雲。

あまざき amadzaki [名] 酢。㊦～う ぬん (酢を飲む)。

あまだい amadai [名] 雨垂れ。㊦～ぬ うていい (雨垂れが落ちる)。

あまみじい amamidzī [名] ①雨水。天水。②真水。

あまむぬ amamunu [名] 塩気の薄い物。

あまやかしい amajakasī [動] 甘やかす。㊦っふあう ～ (子供を甘やかす)。

あまん amaŋ [名] (動) やどかり。あまんぬくー (やどかりの殻)。

あみ ami [名] 雨。㊦～ぬ あかい (雨がやむ)。

あみ ami [名] 飴。㊦あみゅー ふあう (飴を食べる)。

あみい amii [動] 浴びる。㊦みっちゅー ～ (水を浴びる)。

あみかでい amikadi [名] 雨風。

あみふうー amifu: [名] 雨降り。㊦きゅーや ～ とうきゃ (今日は雨降り日だ)。

あみふうーわーちいちい amifu:watsitsī [名] 雨降りの天気。

あみむぬ amimunu [名] (新) 編物。㊦～う あしい (編物をする)。

あや aja [名] 綾。縞。模様。

あやかいかい ajakai [名] あやかり。㊦～や じゃうとー (あやかりは良い)。

あやしいかん ajasikaŋ [形] あやしい。不審である。あやしいびとう (あやしい人)。

あやばちゃ ajabatja [名] (混) 蝶。㊦～ぬ とうう (蝶が飛ぶ)。

あやひーajaci: [接続] それから。そうして。

あらー ara- [接続] 新たな意。あらむぬ (新しい物)。みー (新しい) とも言う。

あらー ara- [接続] 荒い。粗い。あらいん (荒海)。あらびとう (荒い人)。あらまい (粗

- い米)。
- あら ara [名] 外。戸外。ふか(外)とも言う。㊦～んかい いでいーな(外に出るな)。
- あらいむぬ araimunu [名] 洗い物。洗濯物。
- あらう arau [動] 洗う。㊦ちいんぬ ～(着物を洗う)。
- あらかん arakag [形] ①荒い。㊦なんぬ ～(波が荒い)。②粗い。㊦んなぐぬ ～(砂が粗い)。③粗暴、乱暴である。あらびとう(乱暴者)。
- あらしい arasi [動] ①荒す。㊦はいゆ ～(畑を荒す)。②乱暴にしておかき乱す。
- あらしい arasi [動] 有るようにする。有らせる。
- あらしいぐとう arasigtu [名] 荒仕事。㊦～う あしい(荒仕事をする)。
- あらすい arasui [名] 争い。あらすいぐとう(争い事)。
- あらずくい aradzukui [名] 粗造り。下ごしらえ。㊦～ゆ あしい(粗造りをする)。
- あらたぬ aratanu [連体] 新たな。～くとう(新たな事)。
- あらたび aratabi [名] 新旅。初旅。
- あらたまい aratamai [動] (新)改まる。新しくなる。㊦ゆーぬ ～(世が改まる)。
- あらたみい aratamii [動] (新)改める。新しくする。
- あらたん arataj [副] 新たに。
- あらだていい aradatii [動] 荒立てる。荒々しくする。
- あらてい arati [名] 新手。～ぬくとう(新手の事)。
- あらとうしい aratusi [名] 粗砥。㊦～ひー とうじい(粗砥で研ぐ)。
- あらどうくな aradukuna [名] 荒場。霊がいる所。
- あらやー araja: [名] 荒屋。荒れた家。
- あらなん aranag [名] 荒波。㊦～ぬ ゆい(荒波が寄る)。
- あらん arag (句) そうでない。違う。㊦あいや ～(そうではない)。
- あり ari [名] 荒れ。海が荒れること。
- ありい arii [動] 荒れる。㊦いんぬ ～(海が荒れる)。
- ありじいー aridzi: [名] 荒れ地。㊦～ゆ かでいい(荒れ地を耕す)。
- あわていい awatii [動] ①慌てる。②急ぐ。㊦あわていー ふうう(急いで来る)。
- あわふうきや awafukja [名] 泡をふくもの。
- あわふうちい awafutsi [動] あえぐ。泡をふく。㊦あわふうきー たうりい(あえいで倒れる)。
- あわり awari [名] あわれ。みじめ。苦勞。㊦～ あしい(苦勞する)。
- あわわわ awawawa [擬声] あばばば。口を手でたたきながら幼児が声を出すこと。
- あん-ag- [接頭] あんな。あの。あんだき(あのように)。
- あん ag [名] 餡。㊦～ぬ むちいーんかい いりい(餡をもちに入れる)。

あん an [名] 網。㊦～ひー いうー とうい (網で魚を採る)。

あん an [動] 編む。㊦あんぬ ～ (網を編む)。

あんだき andaki [副] あれ程。㊦～ がばーふう ない (あれ程大きくなる)。

あんちー antʃi: [副] そんなに。あんなに。㊦～ あしいな (そうにするな)。

あんばい ambai [名] 味。賞味すること。㊦～ゆ あしい (味をする)。

## い

いあ iza [名] 父。㊦～んかい ちいふう (父に聞く)。

いあら izara [名] 鎌。㊦～う とうじい (鎌を研ぐ)。

いい ii [動] 要る。必要である。

いい ii [動] 射る。(鉄砲で) 撃つ。だみいとも言う。

いー i: [名] 亥。十二支の一つ。

いー i: [名] 絵。かたとも言う。㊦～ゆ かふう (絵を描く)。

いー i: [助詞] 意味を強める。体言、助詞、掛け声につく。㊦ばんいー (ぼくね)。ふうに  
どーいー (舟だぞ)。

いー i: [名] (新) 胃。うふうがいとも言う。

いー i: [名] 西。㊦～んかい んちい (西へ向く)。

いいい iʒii [動] 貰う。

いーあがい i:agai [名] 東西。

いーかた i:kata [名] 西の方。

いーかちいびとう i:katsiʔitu [名] 絵かき。

いーかでい i:kadi [名] 西風。㊦～ぬ ふうちい (西風が吹く)。

いーき i:ki [名] 鱗。

いーじいま i:dzima [名] 西の方の集落。～びとう (西の方の集落の人)。

いーちい i:tsi [動] 油でいためる。炒る。㊦まみゆー ～ (豆を炒る)。

いーちいむぬ i:tsimunu [名] 油でいためた料理。

いーていだ itida [名] 没する太陽。西日。

いーばな i:bana [名] 入り端。日の没しぎわ。

いーばり i:bari [名] (地) 下崎あたりの集落。

いーぶー i:bu: (屋号) 屋号の一つ。

いーぶん i:bug [名] (新) 言い分。

いーまーい i:mai [名] 風が西にまわること。

いーむぬ iʒimunu [名] 貰い物。

いかり ikari [名] 錨。㊦いかりゆー あざい (錨を上げる)。

- いぎー igi: (感) ああ。驚いた時、嫌悪の気持ちを催す時に用いる。
- いきま ikima (地) 池間。
- いきまじいま ikimadzima (地) 池間島。宮古本島の西北約 5 km に浮かぶ島。
- いきやがらん ikjagarakan [形] 不思議である。
- いさぐ isagu [名] 咳。㊦いさぐー あしい (咳をする)。
- いさみい isamii [動] (新) いさめる。注意する。警告する。
- いしい isī [名] (新) 椅子。
- いしい isī [名] 石。㊦いっす ひすう (石を拾う)。
- いしいうしい isiusī [名] 石臼。
- いしいがんとー isīgantu: [名] 石敢当。魔よけの石。
- いしいぐー isīgu: [名] 小石。
- いしいぐーんちい isīgu:ntsi [名] 砂利道。
- いしいざやふう isīdzajafu [名] 石大工。石工。
- いしいじいー isīdzī: [名] 石地。石ころの多い土地。㊦～ゆ かでいい (石地を耕す)。
- いしいじゃう isīdzau [名] 石門。石造りの門。
- いしいだん isīdan [名] 石段。
- いしいばしい isibasī [名] 石橋。㊦いしいばっす ばたい (石橋を渡る)。
- いしいばら isībara [名] 石の柱。石柱。
- いしいぶとうき isībutuki [名] 石仏。
- いじい idzī [名] 意地。勇氣。㊦いじいぬ あい (勇氣がある)。
- いじいびとう idzībitu [名] 勇敢な人。
- いすう isuu [動] (新) 急ぐ。㊦いすぎー はい (急いで帰る)。
- いすがしい isugasī [動] 急がす。㊦まーぬ ～な (あまり急がすな)。
- いすがしいかん isugasīkan [形] 忙しい。㊦きゅーや ～ (今日は忙しい)。
- いしゃ ifa [名] 医者。㊦～ぬ やんぬ なうしい (医者が病気をなおす)。
- いじゃい idzai [名] 漁。魚をとること。
- いじゃいびー idzaibi: [名] 漁火。㊦～ひー いうー とうい (漁火で魚をとる)。
- いじゅ idzu (植) ひめつばき。いじゅぬはな (ひめつばきの花)。
- いだし idasī [動] 出す。①現れるようにする。㊦ばたう ～ (腹をあらわにする)。②中から外へやる。㊦ふうにゅー ～ (舟を出す)。
- いち itji [名] 一。
- いちいち itji itji [副] いちいち。ひとつひとつ。㊦～ しらびい (いちいち調べる)。
- いちがちい itfigatsī [名] 一月。
- いちごー itfigo: [名] (新) 一合。

いちだい itjidai [名] (新) 一代。

いちまい itjimai [名] (新) 一枚。にまい (二枚)。さんまい (三枚)。よんまい (四枚)。

いちまん itjimag [名] (新) 一万。にまん (二万)。さんまん (三万)。よんまん (四万)。

いちり itjiri [名] 一里。

いちい itsī [名] 五つ。数える時に言う。ていー (一つ)。たー (二つ)。みー (三つ)。

いちい itsī [名] 息。呼吸。㊦いっちゅ あしい (息をする)。

いちいっさかん itsīssakag [形] 息くさい。いちいっさりびとう (息くさい人)。

いちいっさら itsīssara [名] 息のくさい人。

いちいとうしい itsītusī [名] 五年。㊦～ ない (五年なる)。

いちいながかん itsīnagakag [形] 息が長い。水中にもぐって息を止めている時間が長い。

「息の長い仕事」のような用法はない。

いちいはーはー itsīha:ha: [名] 息をせきこんで吸ったり吐いたりすること。

いちいばん itsīban [名] 一番。㊦～ぬ むぬどう ましい (一番のものが良い)。

いちいばんどうい itsībandui [名] 一番鶏。暁を告げて鳴く最初の鶏のこと。にばんどうい (二番鶏)。さんばんどうい (三番鶏)。

いちいばんどうしい itsībandusī [名] 一番の友達。無二の親友。

いちいばんじゃー itsībandza: [名] 一番座。表座敷の一番上の座敷。

いちいむん itsīmug [名] 一門。一族。

いでいい idii [動] 出る。①現れる。㊦ちいっちゅぬ ～ (月が出る)。②中から外へ移動する。㊦ふかんかい ～ (外へ出る)。

いでいだか ididaka [名] 支出高。㊦いでいだかー いかっさ (支出高はいくらか)。

いでいすがい idisugai [名] 出支度。出発の用意。㊦～ゆ あしい (出支度をする)。

いでいどうくま ididukuma [名] 出どころ。㊦うぬくとうぬ いでいどうくまー んじゃ (その事の出どころはどこだ)。

いでいふうちい idifutsī [名] 出口。出るところ。はいふうちい (入口) の対。

いでいぶに idibuni [名] 出船。はいぶに (入船) の対。

いっかい ikkai [名] 一階。にかい (二階)。さんかい (三階)。

いっかいやー ikkaija: [名] 一階造りの家。

いっきん ikkij [名] 一斤。

いっさい issai [副] いっさい。㊦～ あいぬ くとうーばー ふん (いっさいその様なことはしない)。

いっしん ifjij [名] 一銭。いっしんでいん (一銭のお金)。

いっしゃく ifjaku [名] 一尺。にしゃく (二尺)。さんしゃく (三尺)。

いっしゅ ifju [名] 一升。㊦さきゅー ～ ぬん (酒を一升飲む)。

- いっしゅびん *ifjubig* [名] 一升びん。
- いったん *ittag* [名] 一反。いったんぬじいー (一反の地)。
- いっとう *ittu* [名] 一斗。
- いっとうだる *ittudaru* [名] 一斗樽。
- いっちょー *ittjo:* [名] 一兆。にちょー (二兆)。さんちょー (三兆)。
- いっぱい *ippai* [名] 一杯。たくさん。いっぱいぬひとう (たくさんの人)。
- いっぴ *ippi* [副] どれくらい。㊦～ばかーいぬ いうが (どれくらいの大きさの魚か)。
- ひっぴる *ippiru* [名] 一尋。～ぬひむ (一尋のひも)。
- いとう *itu* [名] 糸。いちゅとも言う。㊦～ひー ちいんぬ ぬう (糸で着物を縫う)。
- いとうまん *itumag* [地] 糸満。沖縄本島南部の町。
- いちゅ *itsu* [名] 糸。いとうとも言う。
- いちゅじいん *itjudziŋ* [名] 絹の着物。
- いなか *inaka* [名] (新) 田舎。
- いなかむぬい *inakamunui* [名] 田舎言葉。
- いはい *ihai* [名] (新) 位牌。㊦～ゆ かざい (位牌を飾る)。
- いばい *ibai* [動] 威張る。㊦まーぬ いばいな (あまり威張るな)。
- いばいっさい *ibaissai* [動] 威張りくさる。
- いばら *ibara* [名] 威張る人。㊦かりゃー やぐみ ～ (彼は大変な威張る人だ)。
- いび *ibi* [名] えび。いせえび。淡水に住む蝦はさいと言う。
- いび *ibi* [名] 杜の中の神の座す神聖な場所。
- いましめい *imafimii* [動] いましめる。
- いみ *imi* [名] 意味。
- いみ *imi* [名] 忌み、喪。
- いみいしい *imiisī* [名] 小石。㊦いみいっす ひすう (小石を拾う)。
- いみかん *imikag* [形] 小さい。がばーかん (大きい) の対。
- いらい *irai* [名] 返事。いらいあしい (返事する)。
- いらう *irau* [動] 選ぶ。㊦じゃうむぬー ～ (良い物を選ぶ)。
- いらう *irau* (地) 伊良部。いらうびとう (伊良部の人)。いらうじいま (伊良部島)。いらうふうちい (伊良部言葉)。
- いらううちい *irauutsī* (魚) ぶだいの一種。
- いらびなうしい *irabinausī* [動] 選び直す。
- いらびはっちゃきい *irabihattjakii* [動] 選びそこねる。
- いりかいい *irikaii* [動] 入れ替える。㊦くいとう かりゅー ～ (これとあれを入れ替える)。

- いりかいしい irikaisi [動] 入れかえす。
- いりくみい irikumii [動] 入れこむ。㊦ていーゆ あなんかい ～ (手を穴に入れこむ)。
- いりちがい iritfigai [名] 入れ違い。
- いりばー iriba: [名] 入れ歯。
- いりびー iribi: [名] 入り日。部屋の中にさしこむ日。
- いりむく irimuku [名] 入婿。
- いりむぬ irimunu [名] 入れ物。容器。㊦～んかい いりい (入れ物に入れる)。
- いる iru [名] 色。顔色。㊦～ にゃーだ ふうー (真っ青になって来る)。
- いるかぎかん irukagikag [形] 色が美しい。肌が美しい。いるかぎみどうん (色が美しい女性)。
- いるぐる iruguru [名] 色が黒いこと。いるぐるんまり (もともと色が黒い人)。
- いるぐるかん irugurukag [形] 色が黒い。㊦ばがどう ～ (ぼくの方が色が黒い)。
- いるじる irudziru [名] 色が白いこと。いるじるんまり (生まれながらにして色が白い人)。
- いるじるかん irudzirukag [形] 色が白い。
- いるみ irumi [名] (新) 色目。いるみゅー ちいかう (色目をつかう)。
- いるむちい irumutsi [名] 色合い。色調。
- いわ iwa [名] (新) 岩。㊦～う ふうきゃかしい (岩をくだく)。
- いわり iwari [名] (新) いわれ。由緒。
- いん iq [動] 犬。㊦～ぬ ふいい (犬が吠える)。
- いん iq [名] 戌。十二支の第11番目。
- いん iq [名] 印。㊦～ぬ うしい (印を押す)。
- いん iq [名] 縁。ゆかり。てづる。ひとつぬ～ (人の縁)。
- いん iq [名] 海。㊦～な あうかん (海は青い)。
- いんあーさ ipasa (植) あおさ。海の瀬に生えている海藻。
- いんいしい ipisi [名] 海石。家を造る時の土台として使ったりする。
- いんかでい iqkadi [名] 海風。㊦～ぬ ふうちい (海風が吹く)。
- いんきり iqkiri [名] 縁切れ。
- いんぎんまみ iggimmami (植) いんげん豆。
- いんぐみ iggumi [名] 縁組。結婚の約束をすること。㊦～ん ない (縁組になる)。
- いんしゃ infja [名] 漁師。㊦～に ない (漁師になる)。
- いんどうい indui (動) 海鳥。
- いんどうーかん indu:kag [形] 縁遠い。
- いんとうく intuku [名] 陰徳。世の中に知られないように施す恩恵。
- いんとうまゆ intumaju [連語] 犬と猫。犬猿の仲。仲の悪い者どうしのたとえ。

いんにく inniku [名] 印肉。朱肉。㊦いんにくー ちいきい (朱肉をつける)。

いんにゃー innja: [名] 西隣りの家。あがんにゃー (東隣りの家) の対。

いんばう imbau (動) 海蛇。

いんばた imbata [名] 海辺。海岸。いんばたぬやー (海辺の家)。

いんま imma [名] (新) 閻魔王。

いんまらだに immaradani [名] リンパ腺にできるぐりぐりのこと。

## う

うい ui [代] それ。中称指示代名詞。㊦～がどう ましい (それがよい)。

うい ui [動] ①居る。おる。㊦ひとつぬ ～ (人がいる)。②生きている。㊦つぶあが  
ちいかないうたい いんな うりーどう ういな (君が飼っていた犬は生きているか)。

うい ui (植) 瓜。㊦ういゆ いびい (瓜を植える)。

うい ui [動] 織る。㊦ちいんぬ ～ (着物を織る)。

ういー ui 甥。独立しては用いられない。みゅーい (姪、甥) のように複合している。

ういい uii [動] 生える。勃起する。㊦っさぬ ～ (草が生える)。

ういかでい uikadi [名] 追い風。

ういぐりかん uigurikag [形] 居づらい。㊦しゅーが まいんな ～ (祖父の側には居づら  
い)。

ういじい uidzī (地) 上地。下地町に属する。

ういしいた uisita [名] 上下。㊦～う みい (上下を見る)。

ういじいん uidzīn [名] 旧暦3月頃の季節。

ういた uita [代] それら。それらの者。ういの複数形。㊦～がどう あしいたい (それら  
の者がやった)。

ういたち uitatji [名] (新) 生立ち。

ういだに uidani (植) 瓜の種。㊦ういだにゅー いびい (瓜種を植える)。

ういはらう uiharau [動] 追い払う。㊦まゅー ～ (猫を追い払う)。

ういば uiba: [名] 上の歯。㊦～ゅ んじい (上の歯を抜く)。

ういび uibi [名] 指。うゆびとも言う。㊦～ひー ゆん (指で数える)。

ういびがに uibigani [名] 指輪。㊦ういびがにゅー はみい (指輪をはめる)。

ういびさちい uibisatsī [名] 指先。

ういびばん uibibaŋ [名] 拇印。㊦～ぬ うしい (拇印を押す)。

ういまーしい uima:sī [動] 追いまわす。㊦みどうんぬ ～ (女性を追いまわす)。

うー u- 中称の指示語をつくる。うぬ (その)。うい (それ)。

うー u- [接頭] 御。体言の上につく美化語。特殊の単語と複合する。尊敬の接頭辞として

- は熟していない。うがん (御願、祈願)。うみしい (お箸)。うたき (御嶽)。
- うう uu [動] 負う。責任を負う。
- うう uu [動] 売る。㊤しいなむぬー ~ (品物を売る)。
- うー u: [接頭] 雄。うーどうい (雄鳥)。びきとも言う。
- うー u: [名] 卯。十二支の一つ。うどうしい (卯年)。うどうしいんまり (卯年生まれ)。
- うー u: (感) 祈りを捧げる時に発する。うーたうとう (ああ尊)。
- うー u: [接頭] 大。うーぐとう (大事)。うーあわてい (大慌て)。うふとなる時もある。
- うーあみ u:ami [名] 大雨。うふあみとも言う。㊤~ぬ ふうう (大雨が降る)。
- うーあわてい u:awati [名] 大慌て。
- うーかでい u:kadi [名] 大風。大嵐。㊤~ぬ ふうちい (大風が吹く)。
- うーがーら u:gara [名] 雄瓦。円筒状の瓦。みーがーら (雌瓦) の対。
- うーかんがい u:kangai [名] 大きな考え。
- うーぐい u:gui [名] 大声。うふぐいとも言う。㊤~ゆ いだしいな (大声を出すな)。
- うーぐとう u:gutū [名] ①大変なこと。②有難いこと。
- うーさうどー u:saudō: [名] 大騒ぎ。
- うーしい u:sī [動] 負わせる。罪や責任などを他の人に転稼する。㊤ひとぅんかい ちいみゅー ~ (他人に罪を負わせる)。
- うーしいぐとう u:sīgutū [名] 大仕事。
- うーじい u:dzī [動] 泳ぐ。㊤いんから ~ (海で泳ぐ)。
- うーじい u:dzī [名] 泳ぎ。㊤っぶあが うーっじゃ ならん (君の泳ぎはだめだ)。
- うーじいる u:dzīru [名] 雄弦。三味線の一つの糸。一番太く低い音を出す。なかじいる (中弦)、みーじいる (雌弦) の対。
- うーじいな u:dzīna [名] 雄綱。頭が小さく雌綱の中に入れる。みーじいな (雌綱) の対。
- うーたうとう urtautū (感) ああ尊。神仏を礼拝する時に発する。
- うーていがら urtigara [名] 大手柄。
- うーちいい urtsī [動] 追いかける。㊤ひとぅー ~ (人を追いかける)。
- うーちいにかー urtsīnja: [名] 追いかっこ。おにごっこ。㊤~ゆ あしい (おにごっこをする)。
- うーどうい urdui [名] 雄鶏。びきどういとも言う。みーどうい (雌鶏) の対。
- うーにんじゅ u:nindzu [名] 大人数。大勢。㊤っぶあどうが やーや ~ (君たちの家族は大人数だ)。
- うーぬくい u:nukui [名] 売り残り。
- うーぬくい u:nukui [動] 売り残る。㊤しいなむぬぬ ~ (品物が売り残る)。
- うーはていい u:hatii [動] 売り果てる。売り尽くす。

- うーびとう u:bitu [名] 売る人。売り手。
- うーみじい u:midzi [名] 大水。洪水。
- うーむぬ u:munu [名] 雄。雄物。㊦～う なしい (雄を産む)。
- うーんかしい u:jkasi [名] 大昔。
- うかーしいかん uka:sikag [形] 大変である。㊦かぬひとうー うかーしい うとうるしい  
びとう (彼は大変恐ろしい人だ)。
- うかう ukau [名] 御香。線香。
- うがましい ugamaii [動] 拝まれる。神が姿をあらわして目に見える。
- うがん ugag [名] 拝み。拝むこと。
- うがん ugag [動] 拝む。㊦かんぬ ～ (神を拝む)。
- うがん ugag (地) 大神。うがんじいま (大神島)。
- うがんだーう uganda:u [名] 祈願に用いる道具。
- うく uku [名] 奥。うくかた (奥の方)。
- うくばー ukuba: [名] 奥歯。
- うぐい ugui [名] (新) おごり。ふるまい。
- うぐい ugui [動] (新) おごる。ふるまう。㊦ひーまむぬー ～ (昼食をおごる)。
- うぐなーい ugunazi [名] 集まり。㊦～や いちいやいば (集まりはいつだ)。
- うぐなーい ugunazi [動] 集まる。㊦ひとつぬ～ (人が集まる)。
- うぐなーいどうくな ugunazidukuna [名] 集まる所。集会所。
- うぐないい ugunaii [動] 集める。㊦ぐみゅー ～ (ゴミを集める)。
- うさぎ usagi [名] (新) 兎。
- うさぎい usagii [動] さし上げる。㊦しんしーんかい さきゅー ～ (先生に酒をさし上  
げる)。
- うさば usaba [名] できもの。㊦～ぬ いでいい (できものが出る)。
- うさまい usamai [動] (新) ①治まる。②静まる。
- うさみい usamii [動] (新) ①治める。統治する。②静める。
- うさみい usamii [動] 納める。㊦じょーのーゆ ～ (税を納める)。かたづける意味ではな  
うしいを用いる。
- うし ufi [名] 童名の一つ。ウシ。
- うしい usi [名] 白。㊦うっす ひちい (白をひく)。
- うしい usi [名] 牛。㊦うっす ちいかなう (牛を飼う)。
- うしいばー usiba: [名] 臼歯。
- うじ udzi [名] (新) 氏。
- うじい udzi [名] 渦。㊦～ぬ まちい (渦が巻く)。

- うじいまい udzīmai [動] 埋まる。うずまる。
- うじいみい udzīmii [動] 埋める。うずめる。
- うじいむしい udzīmusī [名] 蛆。㊦～ぬ ばちい (蛆がわく)。
- うじいん udzīn [動] 埋める。
- うたしいき utasiki [名] お助け。
- うだいい udaii [動] 太る。㊦うでいぬ ～ (腕が太る)。
- うだかん udakaŋ [形] 太い。㊦くぬ きーや ～ (この木は太い)。うだびとう (太った人)。
- うちいんふうかん utsīnfukaŋ [形] 引込みじあんである。
- うちいんふうびとう utsīnfubitu [名] 引込みじあんな人。
- うでい udi [名] 腕。肩から手までの部分。
- うでいぐみ udigumi [名] 腕組。
- うでいじいから udidzīkara [名] 腕の力。㊦～ぬ ちゅーかん (腕の力が強い)。うでいたやとも言う。
- うでいじいま udidzīma [名] 腕相撲。㊦～う あしい (腕相撲をする)。
- うでいだみしい udidamisī [名] 腕試し。
- うでいだや udidaja [名] 腕の力。㊦～ぬ あい (腕の力がある)。
- うでいまっふあ udimaffa [名] 腕枕。㊦うでいまっふあーひー にゅう (腕枕をして寝る)。
- うっか ukka [名] 負債。借金。㊦～う はらう (借金をはらう)。
- うっかばらい ukkabarai [名] 負債の支払い。㊦～や はーかいどう ましい (負債の支払いは早い方がよい)。
- うっす ussu [名] ①後頭部。②後頭部のとがった者。
- うったーていー uttaxi: [副] わざわざ。㊦～ っていー ふいい (わざわざ来てくれる)。
- うっちい uttsī [動] 移る。①物や人が別の場所に移動する。②転任する。③病気が伝染する。㊦やんぬ ～ (病気が移る)。
- うっちい uttsī [動] 写る。物の影や光などが他の物の上に現れる。
- うっチャ uttʃa [名] うずら。うっチャぬとうぬか (うずらの卵)。
- うっチャしい uttʃasī [動] 移す。①別の場所に移動させる。②転任させる。③病気を伝染させる。
- うっチャしい uttʃasī [動] 写す。㊦しゃしんぬ ～ (写真を写す)。
- うっぴ uppi [副] これだけ。物の大きさに用いる。くっぴ (これだけ)。かっぴ (あれだけ)。
- うどういい uduii [動] こわがる。恐れる。うどういじゃか (臆病者)。
- うどうーしい udu:sī [動] おどす。驚す。㊦ひとうー ～ (人をおどす)。

うどうかしい udukasī [動] 損をさせる。

うどうき uduki [名] 欠損。

うどうしいんまり udusimmari [名] 卯年生まれの人。

うどうるかしい udurukasī [動] 驚かす。びっくりさせる。㊦やらびゅー ~ (小供を驚かす)。

うどうるちい udurutsī [動] 驚く。びっくりする。

うなじい unadzī [名] うなぎ。㊦うなっじゅ とうい (うなぎを取る)。

うに uni [名] 畝。うにに対し低くなった所はまにと言う。はいぬ~ (畑の畝)。

うぬ unu [連体] その。そんな。~たき (その高さ)。うんなぎ (その頃)。うぬまーい (その辺り)。

うぬ unu (感) そのう。あのう。

うぬあーぎ unua:gi [連語] その上。㊦~ また しいかまう あしいたい (その上また仕事をした)。

うぬあたい unuatai [連語] それくらい。㊦~や なんな (そのくらいできないか)。

うぬあとう unuatu [連語] その後。

うぬしいくなー unusikuna: [連語] そんなに。それだけ。㊦~ んみふうていがー ちいんだらさ (そんなに叱ったらかわいそうだ)。

うぬしいくぬ unusikunu [連体] そんな。それだけの。

うぬじいぶん unudzibuŋ [連語] その時分。その頃。㊦~な んなーぎゃー やらびどうあたい (その頃はまだ子供であった)。

うぬしゃく unufaku [副] それ程。㊦~ んみちいな (それ程叱らないで)。

うぬたき unutaki [名] その高さ。

うぬながちゃ ununagatʃa [連語] その翌日。

うぬばー unuba: [連語] その時。その際。

うぬひとう unuçitu [連語] その人。㊦んぬ いじゃうたいひとう ~ (昨日出会った人はその人だ)。

うぬひゃー unuça: [連語] そいつ。この野郎。卑語。

うぬまま unumama [副] そのまま。㊦~ やーんかい はい (そのまま家に帰る)。

うぬよーぬ unujo:nu [連体] そのような。

うび ubi [名] 帯。すくーとも言う。

うふ- ufu- [接頭] 大。うふあみ (大雨)。うふぎー (大木)。

うふきざい ufukidzai [名] 大祝儀。大きな祝宴。

うふしいかき ufusikaki [名] 大仕掛け。

うふじいから ufudzikara [名] 大力。

- うふじいま uφudzima [名] 大島。大きな島。
- うふだいく uφudaiku [名] 大太鼓。㊦うふだいくー うちい (大太鼓を打つ)。
- うふちいじいん uφutsidzīn [名] 大鼓。
- うふっさぎ uφussagi [名] 大結婚式。
- うふなー uφuna: [名] 大綱。大きなひも。いみなー (小さなひも) の対。
- うふなん uφunanj [名] 大波。㊦～ぬ ゆしい (大波が寄せる)。
- うふぶに uφubuni [名] 大船。
- うふやー uφuja: [名] 大家族。
- うふら uφura (地) 大浦。平良市の北部に位置する。
- うふんちい uφuntsī [名] 大道。大きな道。いみんちい (小さな道) の対。
- うぶい ubui [名] (新) おぼえ。記憶。
- うぶぎー ubugi: [名] 産毛。産髪。
- うぶぐい ubugui [名] 産声。
- うぶじいん ubudzīn [名] 産衣。産着。
- うぶみじい ubumidzī [名] 産水。出産の時産児の額につける水。
- うぶゆー ubuju: [名] 産湯。
- うぶん ubug [名] お盆。盆。食器や食べ物のをせて運ぶ台。単にぶんとも言う。
- うま uma [代] そこ。
- うまい umai [動] (新) 埋まる。
- うまなぎ umanagi [名] その辺。
- うみ umi [名] (新) 梅。うみぬきー (梅の木)。
- うみしい umisī [名] お箸。㊦～ひー ふあう (お箸で食べる)。
- うむい umui [名] 思い。考え。願い。
- うむいあたい umuiatai [動] (新) 思い当たる。
- うむいいだしい umuiidasī [動] 思い出す。㊦んぬぬ くとうー ～ (きのうの事を思い出す)。
- うむいかいしい umuikaisī [動] (新) 思い返す。
- うむいくがりい umuikugarii [動] (新) 思い焦れる。
- うむいくん umuikug [動] (新) 思い込む。
- うむいぐとう umuigutu [名] 思い事。
- うむいぬくしい umuinukusī [動] 思い残す。
- うむう umuu [動] 思う。考える。願う。好きである。㊦ばー っぶあうどう ～ (ぼくは君を好きである)。
- うむかぎ umukagi [名] (新) 面影。心に浮かぶ顔かたち。

- うむくとう umukutu [名] 思慮。うむくとうむぬ (思慮深い者)。
- うむくとうかん umukutukag [形] 思慮深い。
- うむてい umuti [名] 表。うらうむてい (裏表)。
- うむていがい umutigai [名] (新) 畳などの表替え。
- うむっしかん umuffikag [形] おもしろい。うれしい。楽しい。興味がある。
- うむっしくとう umuffikutu [名] おもしろい事。
- うむっしどうくま umuffidukuma [名] おもしろい所。
- うむっしな一 umuffina: [名] おもしろい名前。
- うむっしばなし umuffibanasi [名] おもしろい話。
- うむっしびとう umuffibitu [名] おもしろい人。
- うむっしんまり umuffimmari [名] おもしろい奴。
- うむやしい umujasi [名] 事がすんで心から安心してほっとすること。
- うむやしいかん umujasikag [形] 事がすんでほっとした状態。
- うむやっさ umujassa [名] 安心。
- うや uja (感) ほら。注意を促すために発する語。㊦～ いんぬ うりー ういさ (ほら犬がいるよ)。
- うや uja [名] 親。うやっふあ (親子)。
- うやがんにがい ujangannigai [名] 祭りの一種。うやがん祭り。
- うやき ujaki [名] 金持ち。財産家。
- うやきびとう ujakibitu [名] 金持ち。資産家。
- うやきや一 ujakija: [名] 金持ちの家。
- うやしい ujaſii [動] 差し上げる。㊦しんしーんかい ~ (先生に差し上げる)。
- うやーにやーんむぬ uja:nja:mmunu [連語] 親のない者。みなし子。
- うやうしい ujausi [名] 親牛。
- うやういび ujauibi [名] 親指。
- うやどうい ujadi [名] 親鳥。
- うやうむい ujaumui [名] 親思い。
- うやかた ujakata [名] (新) 親方。
- うやこーこー ujakoko: [名] 親孝行。
- うやきゃうだい ujakjandai [名] 親兄弟。
- うやっふあ ujaffa [名] 親子。
- うやふうこー ujafuko: [名] 親不孝。うやふうこーむぬ (親不孝者)。
- うやぬーま ujanu:ma [名] 親馬。
- うやぬっふあ ujanuffa [連語] 親の子。親によく似た子。

- うやぬやー ujanuja: [連語] 親の家。実家。生家。
- うやまう ujamau [動] 敬う。あがめる。
- うやまいくとうば ujamaikutuba [名] (新) 敬語。
- うやまさい ujasasai [名] 親勝り。親より勝れていること。
- うやむとう ujamutu [名] 親元。㊦～んかい むどうい (親元へもどる)。
- うやんまり ujamhari [名] 親に似ていること。
- うゆう ujuu [動] 及ぶ。到達する。うゆばん (及ばない) のように否定形で使われることが多い。
- うゆび ujubi [名] 指。ういびとも言う。
- うゆびぬふうしい ujubinufusi [連語] 指の節。
- うゆびぬまた ujubinumata [連語] 指の股。
- うら ura [名] 浦。
- うらいしい uraisi [名] 裏石。石垣の裏側の中間に積む小さな石。
- うらがいい uragaii [動] 裏返る。ひっくり返る。表が裏になる。
- うらがいしい uragaisi [名] 裏返し。㊦うらがいっさ ひー ちいい (裏返しにして着る)。
- うらがいしい uragaisi [動] 裏返す。表を裏にする。
- うらじい uradzi [名] 裏地。
- うらじゃ uradza [名] 裏座敷 いちいばんじゃー (一番座)。にばんじゃー (二番座) の裏にある座敷。
- うらまい uramai [動] いらっしゃる。来るの尊敬では使わない。㊦しんしーや がっこー んどう ～ (先生は学校にいらっしゃる)。
- うらまいい uramaii [動] 恨まれる。㊦ひとうん ～ (人に恨まれる)。
- うらん urag [動] 恨む。㊦いふうさう ～ (戦さを恨む)。
- うらんだ uranda [名] オランダ。西洋。欧米。
- うらんだふうちい urandafutsi [名] 西洋の言葉、欧米の言葉。
- うり uri (感) それ。うりうり (それぞれ) ㊦～ みー みーる (それ見てみる)。
- うりー uri: [名] 潤い。おしめり。雨が降って畑が潤うこと。
- うりい urii [動] ①下りる。② (色が水を) 染めていく。㊦いるぬ ～ (色が染まって行く)。うりふうちい (下り口)。
- うりざかま uridzakama [名] 下り坂。㊦うりざかまー ちゅーい あっす (下り坂は注意しろ)。
- うりぬーい urinu: i [名] 下り上り。上り下り。㊦～や ひー くーかん (上り下りしてきつい)。
- うりんちい urintsī [名] 下り道。下り坂の道。あがいんちい (上り道) の対。

うるしい urusī [名] (新) 漆。

うるしい urusī [動] 野菜などを細かく刻む。

うるしい urusī [動] 下ろす。降ろす。①上から下へ過程に注目して移動させる。②種をまく。

うるどうしい urudusī [名] 閏年。

うん ug [名] 鬼。うんぬちいぬ (鬼の角)。

うん ug [名] 運。㊦～ぬ ちゅーかん (運が強い)。

うんじい undzī [名] 恩義。㊦うんっじゅ かいしい (恩義を返す)。

うんじゅ undzu [代] (新) あなた。土族語。

うんじゅーかん undzu:kag [形] 運が強い。うんじゅーむぬ (運の強い者)。

うんちい untsī [動] 釘を打つ。

うんなぎ unnagi [名] その頃。㊦～んな くるまー にゃーったん (その頃は車はなかった)。

うんゆーかん unju:kag [形] 運が弱い。うんゆーむぬ (運の弱い者)。

## え

えい ei (感) えい。掛け声。重い荷物を持ち上げる時などに言う。

えー e: (感) はい。目下の人への応答。目上の人にはおー (はい) という。

えー e: (感) おい。もし。人に呼びかける時に言う。目下にも目上にも用いる。えーえー (おいおい)。

えーんちゃ entʃa (感) ああそうだ。㊦～ ばー ばっしーどう うたい (ああそうだ、ぼくは忘れていた)。

えげー ege: (感) ああ。失敗した時などに用いる。㊦～ また しっばい (ああまた失敗だ)。

## お

おい oi (感) (新) おい。㊦～ っぶあー たる (おい君は誰だ)。

おー o: (感) はい。目上の人に対する応答。㊦～ うぬ とーり (はいその通りです)。

おー o: [名] 王様。しゅいぬおー (首里の王様)。

おーい oī (感) おおい。相手を呼ぶ時に用いる。㊦～ くまんかい くー (おおいここに来い)。

おーおおー o:oo: (感) いいえ。目上の人に対する否定語。

おごい ogoi (感) おお。驚いた時に発する。㊦～よー うどうるかしいな (おお、驚かすなよ)。

おごんみゃ ogo:mmja (感) ああ。大変なことをしでかした時に用いる。㊦～ しんしー  
んかい あいあでい (ああ大変、先生に言いつけよう)。

おーだん o:daŋ [名] (新) 病気の名。黄疸。

おーぬしじんじゃ o:nufidʒindʒa [名] 大主神社。拝所名の一つ。集落の北支部に属する。

おーふうく o:fuku [名] (新) 往復。

おーらわん o:rawaŋ (地) 大浦湾。大浦集落に近い湾。

(琉球大学)